2027年３月期　第２四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年11月６日

上場会社名　　アルコニックス株式会社　　上場取引所　東
コード番号　　3036　　ＵＲＬ　https://www.alconix.com
代表者　　（役職名）代表取締役社長執行役員ＣＥＯ　（氏名）手代木 洋
問合せ先責任者　（役職名）取締役専務執行役員ＣＳＯ コーポレート部門長　（氏名）鈴木 匠　　ＴＥＬ　03-3596-7400

半期報告書提出予定日　2026年11月11日　　配当支払開始予定日 2026年11月24日
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無　　：有

（百万円未満切捨て）

１．2027年３月期第２四半期（中間期）の連結業績（2026年４月１日～2026年９月30日）

（１）連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年３月期中間期	152,450	49.4	13,496	205.9	13,883	250.6	10,402	304.2
2026年３月期中間期	102,046	6.7	4,412	27.8	3,960	△1.8	2,573	△3.3

（注）包括利益　　2027年３月期中間期　37,102百万円（　－%）　　2026年３月期中間期　1,180百万円（　△78.0%）

	１株当たり中間純利益	潜在株式調整後１株当たり中間純利益
	円 銭	円 銭
2027年３月期中間期	345.70	345.31
2026年３月期中間期	85.87	85.83

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年３月期中間期	298,809	115,778	38.5
2026年３月期	222,427	79,942	35.6

（参考）自己資本　　2027年３月期中間期　114,998百万円　　2026年３月期　79,226百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年３月期	－	42.00	－	45.00	87.00
2027年３月期	－	51.00			
2027年３月期（予想）			－	51.00	102.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有
詳細は本日（2026年11月６日）公表いたしました「2027年３月期連結業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

３．2027年３月期の連結業績予想（2026年４月１日～2027年３月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	300,000	36.5	20,500	110.4	20,000	123.5	13,000	132.2	432.03

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有
詳細は本日（2026年11月６日）公表いたしました「2027年３月期連結業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

※　注記事項

（１）当中間期における連結範囲の重要な変更：有

新規　3社　　（社名）　・ALCONIX INDIA PRIVATE LIMITED
・FUJICARBON INDIA PRIVATE LIMITED
・株式会社プルーフ・メカニクス

除外　ー社　　（社名）　ー

（２）中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

（注）詳細は、［添付資料］９ページ「２.中間連結財務諸表及び主な注記（３）中間連結財務諸表に関する注記事項（中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記）」をご覧下さい。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　：無
② ①以外の会計方針の変更　：無
③ 会計上の見積りの変更　：無
④ 修正再表示　：無

（４）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2027年３月期中間期	31,163,700株	2026年３月期	31,125,300株
② 期末自己株式数	2027年３月期中間期	1,022,042株	2026年３月期	1,064,242株
③ 期中平均株式数（中間期）	2027年３月期中間期	30,090,617株	2026年３月期中間期	29,969,313株

（注）当社は「株式給付信託（ＢＢＴ）」及び「従業員向け株式交付信託」を導入しており、株主資本において自己株式として計上されている「株式給付信託（ＢＢＴ）」及び「従業員向け株式交付信託」に残存する自社の株式は、１株当たり中間純利益及び潜在株式調整後１株当たり中間純利益の算定上、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております。

※　第２四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

（決算説明資料及び決算説明会内容の入手方法）

当社は、2026年11月12日（木）に機関投資家、アナリスト向けにネットカンファレンスを開催する予定です。
その模様及び説明内容（音声）については、当日使用する決算説明資料とともに、開催後速やかに当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

１．経営成績等の概況 …… 2
（１）当中間期の経営成績の概況…… 2
（２）当中間期の財政状態の概況…… 3
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明…… 4
２．中間連結財務諸表及び主な注記 …… 5
（１）中間連結貸借対照表 …… 5
（２）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書 …… 7
（３）中間連結財務諸表に関する注記事項 …… 9
（中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記） …… 9
（セグメント情報等の注記） …… 9
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 10
（継続企業の前提に関する注記） …… 10

１．経営成績等の概況

（１）当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間における世界経済は、米国政府の関税政策や北米を中心とするＥＶ減速、中国によるレアメタル・レアアースの輸出規制、更には中東情勢といった地政学的リスクなどが継続し、当社グループの経営に影響を及ぼしました。

当社グループとして関与の深い市場、業界においては、非鉄金属相場はアルミ・ニッケルで下落が見られるものの、銅の高騰やレアメタルの高止まりが継続、中国の輸出規制や中東情勢の影響によるレアメタルやアルミの供給懸念から、リサイクル材を中心に、需要家の在庫確保の特需が継続しました。自動車や車載用二次電池についてはＥＶ減速の影響を受ける一方、ＡＩ・データセンターを起点とする半導体関連は国内や北米で堅調な需要が継続しております。

このような環境のもと、当中間連結会計期間における当社グループの売上高は、レアメタル、アルミ地金などの取引、半導体関連取引が寄与して電子機能材事業、アルミ銅事業、装置材料事業、金属加工事業の４セグメント全てにおいて前年同期比増収となりました。同期間におけるセグメント利益は、上記増収要因が寄与して電子機能材事業、アルミ銅事業、装置材料事業、金属加工事業の４セグメント全てにおいて前年同期比増益となりました。

当中間連結会計期間における主な経営成績は次のとおりであります。

	前中間連結会計期間（百万円）	当中間連結会計期間（百万円）	前年同期比増減額（百万円）	前年同期比増減率（%）
売上高	102,046	152,450	50,404	49.4
営業利益	4,412	13,496	9,084	205.9
経常利益	3,960	13,883	9,922	250.6
親会社株主に帰属する中間純利益	2,573	10,402	7,828	304.2

当中間連結会計期間におけるセグメントの業績は次のとおりであります。また、各セグメントの売上高は、セグメント間の内部売上高を含んでおります。

なお、第１四半期連結会計期間より、報告セグメントごとの業績をより適切に反映させるために、全社費用の配賦方法を見直し、報告セグメントの利益又は損失の測定方法の変更を行っております。前中間連結会計期間のセグメント情報は、変更後の測定方法に基づき作成したものを記載しております。

		前中間連結会計期間（百万円）	当中間連結会計期間（百万円）	前年同期比増減額（百万円）	前年同期比増減率（%）
商社流通－電子機能材	売上高	21,214	35,311	14,097	66.5
	セグメント利益	1,546	5,839	4,292	277.5
商社流通－アルミ銅	売上高	41,941	62,913	20,971	50.0
	セグメント利益又は損失（△）	△153	1,828	1,982	－
製造－装置材料	売上高	23,024	34,863	11,839	51.4
	セグメント利益	452	2,686	2,234	494.2
製造－金属加工	売上高	19,658	24,511	4,853	24.7
	セグメント利益	2,095	3,519	1,423	67.9

（注）セグメント利益は、各セグメントの経常利益又は損失（△）を示します。

・商社流通－電子機能材事業

本セグメントの売上高は、レアメタル取引が寄与して前年同期比増収となりました。本セグメントのセグメント利益は、上記増収要因が寄与して前年同期比増益となりました。

・商社流通－アルミ銅事業

本セグメントの売上高は、アルミ及び銅スクラップ取引が寄与して前年同期比増収となりました。本セグメントのセグメント利益は、上記増収要因が寄与して前年同期比増益となりました。

・製造－装置材料事業

本セグメントの売上高は、北米市場の半導体関連部材・電気設備部材取引が寄与して前年同期比増収となりました。本

セグメントのセグメント利益は、上記増収要因が寄与して前年同期比増益となりました。

・製造－金属加工事業
本セグメントの売上高は、半導体製造装置・実装装置関連部品取引が寄与して前年同期比増収となりました。本セグメントのセグメント利益は、上記増収要因が寄与して前年同期比増益となりました。

（２）当中間期の財政状態の概況
①財政状態
a．流動資産
流動資産は197,812百万円であり、前連結会計年度末比35,521百万円の増加となりました。主な内訳は、受取手形及び売掛金並びに電子記録債権の増加19,574百万円、現金及び預金の増加1,035百万円、棚卸資産の増加15,014百万円であります。

b．固定資産
固定資産は100,996百万円であり、前連結会計年度末比40,860百万円の増加となりました。主な内訳は、投資有価証券の増加37,162百万円、有形固定資産の増加2,202百万円、無形固定資産の増加1,534百万円であります。

c．流動負債
流動負債は148,358百万円であり、前連結会計年度末比27,929百万円の増加となりました。主な内訳は、支払手形及び買掛金並びに電子記録債務の増加17,436百万円、短期借入金の増加8,843百万円、未払法人税等の増加1,114百万円であります。

d．固定負債
固定負債は34,671百万円であり、前連結会計年度末比12,616百万円の増加となりました。主な内訳は、繰延税金負債の増加11,575百万円、長期借入金の増加517百万円であります。

e．純資産
純資産は115,778百万円であり、前連結会計年度末比35,835百万円の増加となりました。主な内訳は、その他有価証券評価差額金の増加25,230百万円、利益剰余金の増加9,024百万円及び為替換算調整勘定の増加1,460百万円であります。

②経営成績
a．売上高
各セグメントの増収により、売上高は152,450百万円（前年同期比49.4％増加）となりました。

b．売上総利益
各セグメント全ての増益により、売上総利益は24,591百万円（前年同期比72.5％増加）となりました。

c．販売費及び一般管理費
人件費の増加等により、販売費及び一般管理費は11,094百万円（前年同期比12.8％増加）となりました。

d．営業利益
上記の結果、営業利益は13,496百万円（前年同期比205.9％増加）となりました。

e．営業外収益、営業外費用
デリバティブ評価益436百万円の計上等により営業外収支（営業外収益-営業外費用）は386百万円の収入超となりました。（前年同期は452百万円の支出超）

f．経常利益
上記の結果、経常利益は13,883百万円（前年同期比250.6％増加）となりました。

g．特別利益、特別損失
投資有価証券売却益等の特別利益972百万円を計上する一方、建設計画変更による損失等の特別損失156百万円を計上いたしました。

h. 親会社株主に帰属する中間純利益

税金等調整前中間純利益14,698百万円から、法人税等4,214百万円、非支配株主に帰属する中間純利益81百万円を差引き、親会社株主に帰属する中間純利益は10,402百万円（前年同期比304.2%増加）となりました。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当中間連結会計期間においては主に、非鉄関連相場の高止まり、需要家による特需や、半導体関連が引き続き堅調なことにより、全セグメントが好調に推移いたしました。年度末へ向けた需要平準化や市況下落等、変動要因はあるものの、前回発表（2026年８月５日）予想を上回る業績見通しとなりましたので、下記のとおり修正いたします。

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	１株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円　銭
修正予想（2026/８/５発表）(A)	265,000	14,700	14,000	9,200	306.60
今回修正予想(B)	300,000	20,500	20,000	13,000	432.03
増減額(B-A)	35,000	5,800	6,000	3,800	
増減率(%)	13.2	39.5	42.9	41.3	
（ご参考）前期実績（2026年３月期）	219,720	9,743	8,947	5,598	186.58

なお、セグメント別の見通しは、下記のとおりです。

		2027年３月期 修正見通し（2026/８/５発表）(A)	2027年３月期 修正見通し (B)	2027年３月期 見通し増減 (B－A)	2027年３月期 見通し増減率〔(B－A)/A〕
		百万円	百万円	百万円	%
商社流通－電子機能材	売上高	48,000	58,000	10,000	20.8
	セグメント利益	4,500	7,500	3,000	66.7
商社流通－アルミ銅	売上高	110,000	120,000	10,000	9.1
	セグメント利益	1,000	2,000	1,000	100.0
製造－装置材料	売上高	63,000	72,000	9,000	14.3
	セグメント利益	3,500	4,000	500	14.3
製造－金属加工	売上高	44,000	50,000	6,000	13.6
	セグメント利益	5,000	6,500	1,500	30.0

（注）セグメント利益は、各セグメントの経常利益を示しております。
なお、各セグメントの売上高は、セグメント間の内部売上高を含んでおりません。

２．中間連結財務諸表及び主な注記

（１）中間連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （2026年３月31日）	当中間連結会計期間 （2026年９月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	21,537	22,572
受取手形及び売掛金	62,694	80,907
電子記録債権	5,330	6,693
商品及び製品	54,786	67,555
仕掛品	7,705	8,436
原材料及び貯蔵品	4,484	5,999
その他	6,155	6,085
貸倒引当金	△404	△437
流動資産合計	162,291	197,812
固定資産		
有形固定資産	39,401	41,603
無形固定資産		
のれん	672	577
その他	1,978	3,608
無形固定資産合計	2,650	4,185
投資その他の資産		
投資有価証券	16,780	53,942
その他	4,643	4,805
貸倒引当金	△3,340	△3,541
投資その他の資産合計	18,083	55,206
固定資産合計	60,136	100,996
資産合計	222,427	298,809
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	54,400	69,295
電子記録債務	5,653	8,195
短期借入金	36,554	45,398
コマーシャル・ペーパー	4,994	4,993
１年内返済予定の長期借入金	5,251	5,332
未払法人税等	2,937	4,051
賞与引当金	1,944	1,912
株式給付引当金	57	31
役員株式給付引当金	―	51
事業構造改善引当金	53	56
その他	8,581	9,038
流動負債合計	120,429	148,358
固定負債		
長期借入金	13,474	13,991
役員退職慰労引当金	362	352
役員株式給付引当金	144	83
退職給付に係る負債	872	931
繰延税金負債	6,024	17,600
その他	1,177	1,712
固定負債合計	22,055	34,671
負債合計	142,485	183,030

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （2026年３月31日）	当中間連結会計期間 （2026年９月30日）
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,907	5,950
資本剰余金	5,441	5,491
利益剰余金	50,352	59,377
自己株式	△1,459	△1,400
株主資本合計	60,241	69,417
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	8,231	33,461
繰延ヘッジ損益	65	△28
為替換算調整勘定	10,686	12,147
その他の包括利益累計額合計	18,984	45,580
新株予約権	32	24
非支配株主持分	684	755
純資産合計	79,942	115,778
負債純資産合計	222,427	298,809

（２）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

（中間連結損益計算書）

（単位：百万円）

	前中間連結会計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自　2026年４月１日 至　2026年９月30日）
売上高	102,046	152,450
売上原価	87,793	127,859
売上総利益	14,252	24,591
販売費及び一般管理費	9,839	11,094
営業利益	4,412	13,496
営業外収益		
受取利息	64	54
受取配当金	297	347
為替差益	－	306
デリバティブ評価益	－	436
その他	425	304
営業外収益合計	787	1,448
営業外費用		
支払利息	495	872
為替差損	313	－
その他	430	189
営業外費用合計	1,239	1,061
経常利益	3,960	13,883
特別利益		
投資有価証券売却益	147	906
その他	29	65
特別利益合計	177	972
特別損失		
事業構造改善費用	56	－
建設計画変更による損失	－	128
その他	10	28
特別損失合計	66	156
税金等調整前中間純利益	4,071	14,698
法人税等	1,494	4,214
中間純利益	2,576	10,483
非支配株主に帰属する中間純利益	3	81
親会社株主に帰属する中間純利益	2,573	10,402

（中間連結包括利益計算書）

（単位：百万円）

	前中間連結会計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自　2026年４月１日 至　2026年９月30日）
中間純利益	2,576	10,483
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,207	25,230
繰延ヘッジ損益	△13	△94
為替換算調整勘定	△2,590	1,483
その他の包括利益合計	△1,396	26,618
中間包括利益	1,180	37,102
（内訳）		
親会社株主に係る中間包括利益	1,205	36,998
非支配株主に係る中間包括利益	△24	104

（３）中間連結財務諸表に関する注記事項

（中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記）

（税金費用の計算）

税金費用については、当中間連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前中間純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等に含めて表示しております。

（セグメント情報等の注記）

【セグメント情報】

Ⅰ　前中間連結会計期間（自　2025年４月１日　至　2025年９月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

（単位：百万円）

	報告セグメント				合計
	商社流通		製造		
	電子機能材	アルミ銅	装置材料	金属加工	
売上高					
顧客との契約から生じる収益	18,333	41,443	22,709	19,559	102,046
外部顧客に対する売上高	18,333	41,443	22,709	19,559	102,046
セグメント間の内部売上高又は振替高	2,880	498	315	98	3,793
計	21,214	41,941	23,024	19,658	105,839
セグメント利益又は損失（△）	1,546	△153	452	2,095	3,941

２．報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と中間連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：百万円）

利益	金額
報告セグメント計	3,941
セグメント間取引消去	19
中間連結損益計算書の経常利益	3,960

３．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（固定資産に係る重要な減損損失）

「金属加工」セグメントにおいて、固定資産の減損損失56百万円を計上しており、特別損失の事業構造改善費用に含めて表示しております。

Ⅱ　当中間連結会計期間（自　2026年４月１日　至　2026年９月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

（単位：百万円）

	報告セグメント				合計
	商社流通		製造		
	電子機能材	アルミ銅	装置材料	金属加工	
売上高					
顧客との契約から生じる収益	31,459	62,306	34,382	24,301	152,450
外部顧客に対する売上高	31,459	62,306	34,382	24,301	152,450
セグメント間の内部売上高又は振替高	3,852	606	481	210	5,150
計	35,311	62,913	34,863	24,511	157,600
セグメント利益	5,839	1,828	2,686	3,519	13,873

２．報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と中間連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：百万円）

利益	金額
報告セグメント計	13,873
セグメント間取引消去	9
中間連結損益計算書の経常利益	13,883

３．報告セグメントの変更等に関する事項

（報告セグメントの利益又は損失の測定方法の変更）

第１四半期連結会計期間より、報告セグメントごとの業績をより適切に反映させるために、全社費用の配賦方法を見直し、報告セグメントの利益又は損失の測定方法の変更を行っております。なお、前中間連結会計期間のセグメント情報は、変更後の測定方法に基づき作成したものを記載しております。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。